



亀甲金網を使った
植生マットです！



肥料袋による安定した緑化が可能！

超遅効性コントロール肥料、土壌改良資材、保水材などを充填した肥料袋を装着した薄綿付のマットで、長期にわたり安定した緑化が可能です。

凍上・積雪・融雪に強い！

亀甲金網とヤシ繊維ネットとの併用で、凍上・積雪・融雪に対し強い保護効果があります。



標準規格

製品名	製品規格			亀甲金網		ネット		1袋入数
	幅	長さ	肥料袋間隔	線径	網目	素材	色	
かまくらマット肥料袋付	1m	10m	50cm	0.8mm	40mm	ヤシ繊維・分解性樹脂	ブラウン	10m ²

(注) ブラワッシャーは含んでいません。 ※ヤシネットは天然繊維のため、色が多少異なる場合があります。

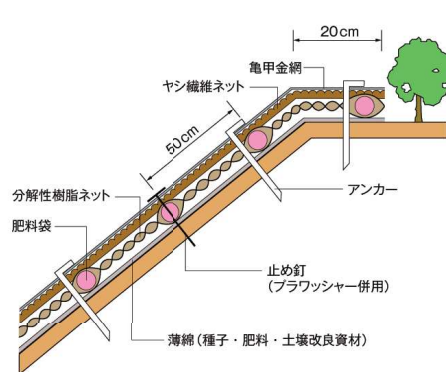
施工手順

- ① のり面の雑草木、浮土砂、浮石などを除去し、マットが密着するよう清掃を行う。
- ② のり肩部を20cm程度巻き込み、薄綿の付いている面をのり面へ密着するように展開する。
- ③ 左右の重ね幅は3cm程度、上下の重ね幅は15cm程度とする。
- ④ マットは、肥料袋を等高線状に展開する。
- ⑤ 所定本数のアンカー・止め釘を規定の間隔・箇所打ち込み密着させる。

注1) 降雨・強風時の施工は避けてください。

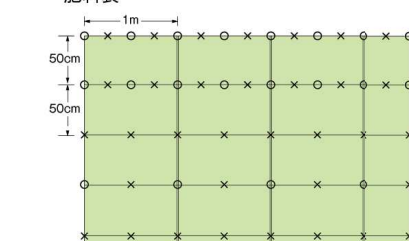
2) 日陰で風通しのよい乾燥した場所に保管してください。

標準断面図



標準打設図

- アンカー (φ9mm×200mm)
- × 止め釘 (ブラワッシャー併用) 150mm



100m ² 当たりの本数 (10×10m)	
○ φ9×200mm	162本
× 150mm	339本

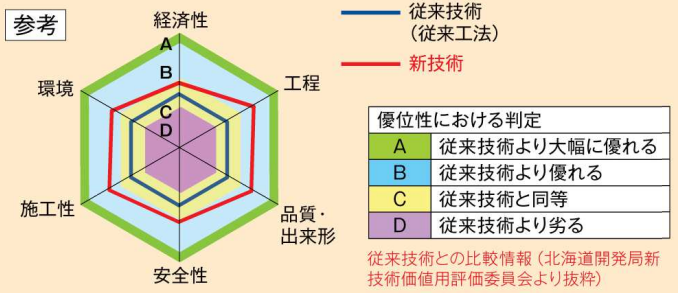
アンカー・止め釘規格、打込み位置については標準として示しておりますので、現地条件に合わせて適宜対応してください。

比較する従来技術 植生基材吹付工 (t=3cm)

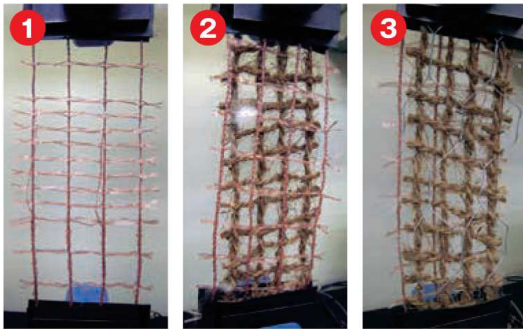
活用効果評価 所見

- 法面貼り付けのみの1工程であるため、工程の短縮が図られ、施工性が向上する。
- 金網、繊維ネット、植生マットによる三層構造により、基盤材の流出が減少するため品質・出来形が向上する。
- 吹付機械を使用しないため、排ガス・騒音・振動もなく環境に優しい。

項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較



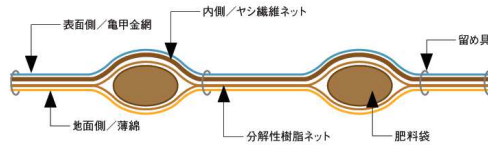
かまくらマット肥料袋付は「樹脂ネット」「ヤシ繊維ネット」「亀甲金網」の3層構造。保温性に優れ、のり面保護効果も高いため、積雪のある寒冷地でも安定した緑化を可能にします。



樹脂ネット

樹脂ネット
+ヤシ繊維ネット

樹脂ネット
+ヤシ繊維ネット
+亀甲金網



積雪地にも適します!



試験結果(測定値)	引張強度(N)	
	縦方向	横方向
1. 樹脂ネット	188	129
2. 樹脂ネット+ヤシ繊維ネット	773	644
3. 樹脂ネット+ヤシ繊維ネット+亀甲金網	904※	728※

※実際の強度は、金網が切断されることはなかったため、上記数値以上と推測されます。

●試験方法 JIS L 1096 準拠 定速伸長形カットスプリット法

施工事例



無処理区との比較



道路



砂防



鉄塔下